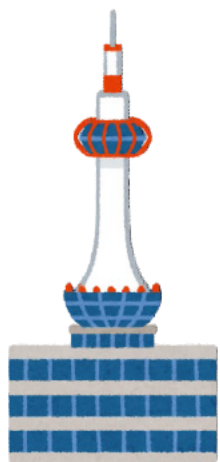


病院名 _____ 京都府立医科大学附属病院
都道府県名 京都府

都道府県の情報

2017年

京都府の総人口	2,599,717人
がん死亡者数(%)	7,647人 (28.9%)
高齢化率	28.6%



京都は魅力いっぱい！！



病院名 京都府立医科大学附属病院
都道府県名 京都府

都道府県内のがん患者の状況

がん種	罹患者数	罹患率	死亡者数	死亡率
肺がん	2,875人	13.7%	1,540人	20.1%
大腸がん	3,158人	15.1%	1,070人	14.0%
胃がん	2,937人	14.0%	907人	11.9%
乳がん	1,824人	8.7%	309人	4.0%
肝臓がん	813人	3.9%	561人	7.3%
前立腺がん	1,971人	9.4%	221人	2.9%

※『京都府がん実態調査報告書2017年』より(上皮内がんを除く)

主要部位別罹患割合は男女ともに肺がんは高く、女性は胃がんも高い
部位別年齢調整死亡率は

男性では肺がん、膵がん、前立腺がんがやや高く、女性では肺がん、胃がん、肝がんが高い
年齢階級別罹患数は男性全体の約81%、女性全体の約70%が65歳以上

病院名 京都府立医科大学附属病院
都道府県名 京都府

がん診療連携拠点病院の情報

都道府県がん診療連携拠点病院

2施設

京都府立医科大学附属病院

京都大学医学部附属病院

地域がん診療連携拠点病院

8施設

京都第二赤十字病院

京都市立病院

京都第一赤十字病院

京都医療センター

京都桂病院

宇治徳洲会病院

京都岡本記念病院

市立福知山市民病院

病院名 _____ 京都府立医科大学附属病院
都道府県名 京都府

がん診療病院の情報

○地域がん診療病院

3施設

京都山城総合医療センター
京都中部総合医療センター
京都府立医科大学附属北部医療センター

○府がん診療連携病院

1施設

舞鶴医療センター

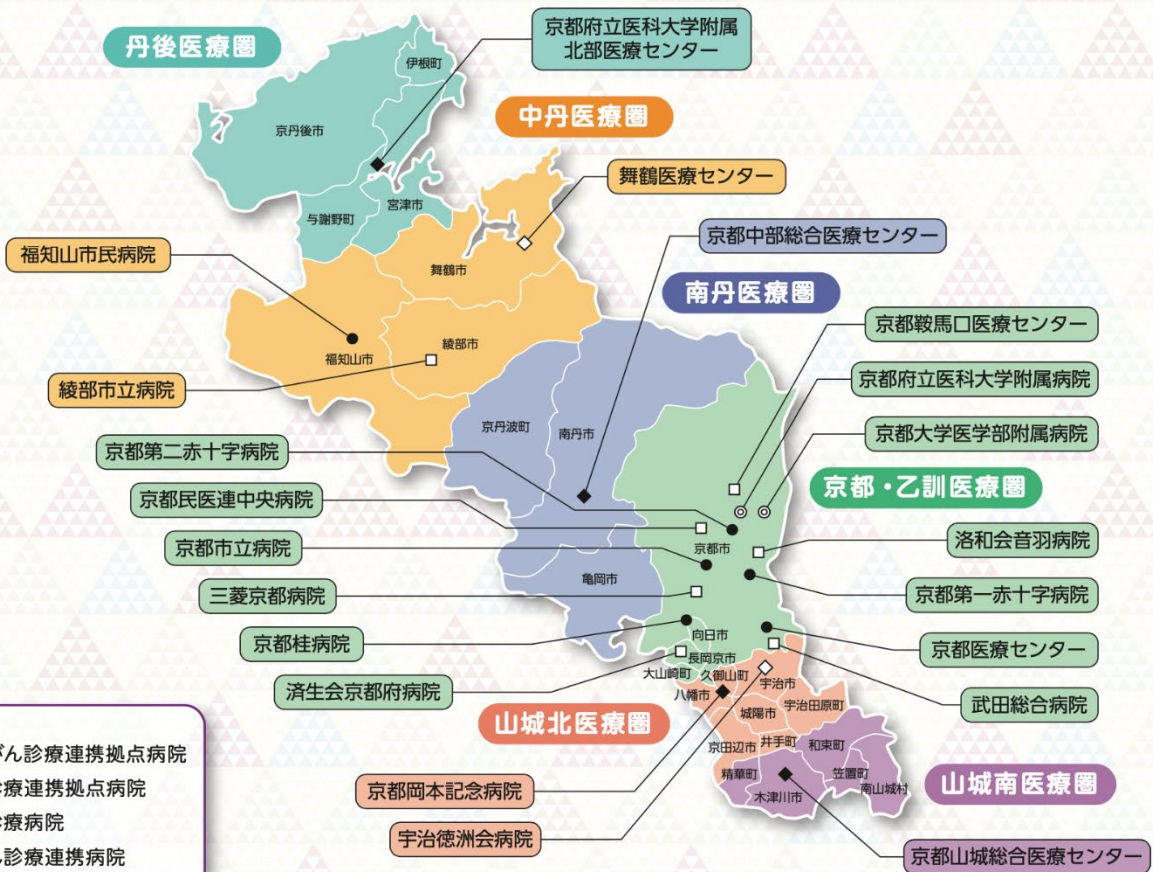
○府がん診療推進病院

7施設

三菱京都病院
済生会京都府病院
洛和会音羽病院
医仁会武田総合病院
京都鞍馬口医療センター
京都民医連中央病院
綾部市立病院

病院名 京都府立医科大学附属病院
 都道府県名 京都府

二次医療圏別施設数（がん拠点・連携・推進病院）



- 凡例**
- ◎: 都道府県がん診療連携拠点病院
 - : 地域がん診療連携拠点病院
 - ◆: 地域がん診療病院
 - ◇: 京都府がん診療連携病院
 - : 京都府がん診療推進病院

丹後医療圏：1施設
 中丹医療圏：3施設
 南丹医療圏：1施設

京都・乙訓医療圏
 : 13施設

山城北医療圏：2施設
 山城南医療圏：1施設

* がん診療連携拠点病院は京都乙訓医療圏8施設、中丹1施設、山城北2施設

都道府県におけるがん医療の問題点

* 医療資源の偏在

- 都市部にがん診療連携拠点病院・がん診療病院が集中
- 人口10万人対医師数は全国2位(323.3人)だが8割弱が都市部に集中
他の医療圏は全国平均以下
- がん治療認定医も都市部に集中(86.6%)

* 75歳未満年齢調整死亡率は全国で16番目と上位

* がん検診等で発見されるケースは全国で37位と低く、全国平均(15.19%)と比較しても13.12%と低い

	人口(%)	罹患数(%)	医師数(%)	がん治療認定医(%)	ゲノム検査(%)
丹後	3.7	4.4	2.1	0.9	7.2
中丹	7.5	7.6	5.2	2.8	4
南丹	5.3	5.8	3	3.7	7.2
京都・乙訓	62.2	60.9	77.8	86.6	68.8
山城北	16.8	16.9	9.9	5	9.6
山城南	4.5	4.4	2	1	3.2
合計	100	100	100	100	100

※がん情報サービス 院内がん登録 全国集計
結果閲覧システムより抽出(2018年症例)

都道府県におけるがん化学療法の現状と課題

【現状】

がん診療拠点病院・がん診療病院が京都市内に偏在
病薬連携は京都市内で推進中（2010年～）

オンライン研修で他の医療圏の看護師も研修参加(2020年～)

MSW同士の病院間での連携不足・相談センターの認知度不足

【課題】

標準治療の均てん化・がん支持療法の推進

病院同士の連携体制の強化、病薬連携の地域差解消

住み慣れた地域での療養や在宅での看取りを含めた医療の提供

早期ACPの実践

地域の病院及び診療所、薬局、訪問看護ステーションなどと連携

→入院治療から在宅医療に至るまでの切れ目のない連携体制を構築

研修の概要

【タイトル】 京都北部医療圏でのチーム医療実践のためのグループワーク研修会

【目的】 地域のチーム医療の促進（irAEマネジメント）

【対象者・人数】

対象施設：府立医大北部医療センター・綾部市立病院・福知山市民病院
・舞鶴医療センター・京都中部総合医療センター（5施設）

対象者：医師・薬剤師・看護師・MSWのチーム 合計20名

【目標】

一般目標（GIO）

irAEマネジメントの体制を整える

到達目標（SBO）

院内irAEマニュアル作りと運用のポイントを理解する

irAEに関する患者指導のポイントを理解する

病院同士で情報共有できる

支持療法やケアについての知識がupdateできる

社会的資源の活用について知識を深める

プログラム

開始	終了	時間	研修方法	内容
13 : 00	13 : 05	5分	オリテ	研修内容説明、講師紹介
13 : 05	13 : 25	20分	自己紹介	事前アンケートに基づいて 施設・チームの紹介(4分5施設)
13 : 25	14 : 05	40分	講義	irAEとは・irAE対策の取り組み(問診票 や治療日誌、委員会、がん相談窓口な ど)・症例提示
14 : 05	14 : 10	5分	休憩	
14 : 10	14 : 40	30分	職種別GW	各施設でのirAE対策の取り組み
14 : 40	15 : 10	30分	施設別GW	各施設での現況と課題を相談
15 : 10	15 : 15	5分	休憩	
15 : 15	15 : 45	30分	各G発表	各施設での成果物(事前に雛形を作成)の 発表(5分5施設)
15 : 45	16 : 00	15分	総括	
16 : 00	16 : 05	5分	アンケート	アンケート記入・回収

研修の評価

【実施評価】

アンケート調査(研修当日)

研修内容、研修日程、研修方法（Web）、参加者の属性、プログラム内容、組み立て

【結果評価】

アンケート調査(研修当日)

- ・院内irAEマニュアル作りと運用のポイントを理解できた
- ・irAEに関する患者指導のポイントを理解できた
- ・病院同士で情報共有できた
- ・支持療法やケアについての知識がupdateできた
- ・社会的資源の活用について知識を深めることができた

【企画評価】

ファシリテーターによる振り返り

- ・目的・目標設定はニーズと合っていたか
- ・実施計画は目標を達成できる内容だったか
- ・評価方法は具体的に評価できる指標や時期・方法だったか